

会 社 名 株式会社カルラ

（ JASDAQ ・ コード番号 : 2789 ）

（ URL <http://www.re-marumatu.co.jp> ）

問合せ先 代表者役職名・氏名 代表取締役社長 井上 修一

責任者役職名・氏名 取締役経営企画室長 本木 邦夫

Tel: (022) 351 - 5888

1 . 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

税効果会計は簡便法によっております。

最近事業年度からの会計処理の変更の有無 : 無

当第 3 四半期財務・業績の概況の数値は、監査法人による監査を受けておりません。

2 . 平成 17 年 2 月期第 3 四半期業績の概況（平成 16 年 3 月 1 日～平成 16 年 11 月 30 日）

（ 1 ）経営成績の進捗状況

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	第 3 四 半 期 （ 当 期 ） 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
17 年 2 月期第 3 四半期	5,511	374	368	195
（ 参 考 ） 16 年 2 月期	5,961	463	438	223

	1 株 当 たり 四 半 期 （ 当 期 ） 純 利 益	潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 （ 当 期 ） 純 利 益
	円 銭	円 銭
17 年 2 月期第 3 四半期	77 06	74 84
（ 参 考 ） 16 年 2 月期	165 31	160 37

（注）当期より第 3 四半期業績の開示を行っているため、前年第 3 四半期実績及びその増減率につきましては記載しておりません。

[経営成績（非連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期における外食市場規模は概ね前年並みか前年を若干上回る推移をいたしました。これを上回るペースでの外食チェーンの店舗数の増加により、個々の店舗毎でみた場合、競争状況はますます激化しております。

また、日本人の生活習慣の多様化を背景に、中食（デリバリー・テイクアウト・惣菜などを中心としたフードサービス業態）が、「便利さ」や「スピード」の点で消費者の支持を拡大する一方で、「健康」的な食事に対する消費者の関心もますます顕著に高まってきております。

こうした中において、当社の営業政策としましては、美味しく、健康的なお食事を、安く、スピーディーにご提供できるよう商品力の強化、特に「旬」の素材を生かした季節メニューの開発とローコスト経営の実現のための店舗オペレーションの改善を行ってまいりました。

店舗政策としましては、主力業態である和風ファミリーレストラン「まるまつ」の東北地方から北関東にかけてのドミナント網を構築すべく、青森県 1 店舗、岩手県 2 店舗、宮城県 4 店舗、秋田県 1 店舗、山形県 1 店舗、福島県 2 店舗、茨城県 1 店舗の計 12 店舗の新規出店を実施しております。

これらの結果、当第 3 四半期における売上高 5,511 百万円、営業利益 374 百万円、経常利益 368 百万円、第 3 四半期純利益 195 百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年2月期第3四半期	5,602	2,981	53.2	1,055 50
(参考)16年2月期	4,726	1,373	29.1	837 33

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

今後の多店舗化展開に備えるため、宮城県黒川郡富谷町の本社工場の隣接地 236 百万円を物流センター用地として取得しております。

また、平成 16 年 10 月 1 日付で 360,000 株の公募増資による新株式発行および平成 16 年 11 月 2 日付で 11,200 株の第三者割当増資による新株式発行を行い、第 3 四半期末における資本金は 1,186 百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等 物の期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年2月期第3四半期	292	738	738	798
(参考)16年2月期	559	696	530	504

[キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報]

当第 3 四半期における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前期末より 294 百万円増加し、当第 3 四半期末の残高は 798 百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第 3 四半期において営業活動の結果得られた資金は 292 百万円となりました。これは主に税引前第 3 四半期純利益が 374 百万円を獲得したこと、減価償却費として 182 百万円を計上したこと、法人税等の支払額 270 百万円があったこと等によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第 3 四半期において投資活動の結果使用した資金は 738 百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出 551 百万円、貸付金の貸付による支出 158 百万円、敷金・保証金の差入による支出 93 百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第 3 四半期において財務活動の結果得られた資金は 738 百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出 944 百万円、長期借入金の借入れによる収入 440 百万円、新株発行による収入 1,462 百万円、割賦未払金の支払 109 百万円によるものです。

3. 平成 17 年 2 月期の業績予想（平成 16 年 3 月 1 日～平成 17 年 2 月 28 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	7,777	638	327	116 10

[業績の予想に関する注意事項]

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

第3 四半期財務諸表等

(1) 第3 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3 四半期末 (平成16年11月30日現在)			前事業年度の要約貸借対照表 (平成16年2月29日現在)		
	金 額	構成比	%	金 額	構成比	%
(資産の部)						
・流動資産						
1. 現金及び預金	798			504		
2. 売掛金	6			2		
3. たな卸資産	111			88		
4. その他	144			105		
5. 貸倒引当金	0			0		
流動資産合計		1,059	18.9		701	14.8
・固定資産						
(1)有形固定資産						
1. 建物	1,285			1,196		
2. 土地	1,666			1,429		
3. その他	229			218		
有形固定資産合計	3,181			2,844		
(2)無形固定資産	84			66		
(3)投資その他の資産						
1. 投資有価証券	92			98		
2. 長期貸付金	369			272		
3. 敷金・保証金	589			529		
4. その他	218			204		
投資その他の資産合計	1,269			1,105		
固定資産合計		4,536	81.0		4,016	85.0
・繰延資産		6	0.1		8	0.2
資産合計		5,602	100.0		4,726	100.0
(負債の部)						
・流動負債						
1. 買掛金	172			148		
2. 短期借入金	55			49		
3. 1年内返済予定 長期借入金	339			353		
4. 1年内償還予定社債	92			92		
5. 未払法人税等	71			159		
6. 賞与引当金	38			12		
7. その他	426			466		
流動負債合計		1,194	21.3		1,281	27.1
・固定負債						
1. 社債	200			262		
2. 長期借入金	738			1,228		
3. 退職給付引当金	41			54		
4. 役員退職慰労引当金	175			175		
5. 長期未払金	254			348		
6. その他	16			1		
固定負債合計		1,426	25.5		2,070	43.8
負債合計		2,620	46.8		3,352	70.9

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期末 (平成16年11月30日現在)			前事業年度の要約貸借対照表 (平成16年2月29日現在)		
	金 額	構成比		金 額	構成比	
(資本の部)						
・ 資本金		1,186	21.2		450	9.5
・ 資本剰余金						
1. 資本準備金	938			202		
資本剰余金合計		938	16.8		202	4.3
・ 利益剰余金						
1. 利益準備金	18			18		
2. 任意積立金						
(1) 別途積立金	66			66		
3. 第3四半期(当期) 未処分利益	803			633		
利益剰余金合計		888	15.8		719	15.2
・ その他有価証券 評価差額金		3	0.1		1	0.0
・ 自己株式等		28	0.5		-	
資本合計		2,981	53.2		1,373	29.1
負債・資本合計		5,602	100.0		4,726	100.0

(2) 第3四半期損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成16年3月1日) (平成16年11月30日)			前事業年度の要約損益計算書 (平成15年3月1日) (平成16年2月29日)		
	金 額	百分比		金 額	百分比	
・ 売上高	5,511	100.0	%	5,961	100.0	%
・ 売上原価	1,863	33.8		2,040	34.2	
売上総利益	3,647	66.2		3,921	65.8	
・ 販売費及び一般管理費	3,273	59.4		3,457	58.0	
営業利益	374	6.8		463	7.8	
・ 営業外収益	63	1.2		94	1.6	
・ 営業外費用	69	1.3		119	2.0	
経常利益	368	6.7		438	7.4	
・ 特別利益	11	0.2		0	0.0	
・ 特別損失	5	0.1		3	0.1	
税引前第3四半期(当期) 純利益	374	6.8		435	7.3	
法人税、住民税及び事業税	179	3.3		212	3.5	
第3四半期(当期)純利益	195	3.5		223	3.8	
前期繰越利益	609			409		
合併による未処理損失受 入額	1			-		
第3四半期(当期) 未処分利益	803			633		

(注) 法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 第3四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期	
		自 平成16年3月1日 至 平成16年11月30日	前事業年度の 要約キャッシュ・フロー 自 平成15年3月1日 至 平成16年2月29日
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税引前第3四半期(当期)純利益		374	435
2. 減価償却費		182	183
3. 固定資産除却損		3	2
4. たな卸資産の増加額		22	14
5. 仕入債務の増加額		22	45
6. その他		36	97
小 計		597	750
7. 法人税等の支払額		270	134
8. その他		34	56
営業活動によるキャッシュ・フロー		292	559
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資有価証券の取得による支出		98	96
2. 投資有価証券の売却による収入		99	-
3. 有形固定資産の取得による支出		551	385
4. 貸付による支出		158	202
5. 貸付金の回収による収入		57	32
6. 敷金・保証金の差入による支出		93	96
7. 敷金・保証金の返還による収入		32	37
8. その他		25	15
投資活動によるキャッシュ・フロー		738	696
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の純増加額(純減少額)		6	43
2. 社債の発行による収入		-	387
3. 社債の償還による支出		62	46
4. 長期借入金の借入れによる収入		440	541
5. 長期借入金の返済による支出		944	422
6. 割賦未払金の支払による支出		109	181
7. 新株発行による収入		1,462	312
8. 配当金の支払額		24	16
9. その他		28	-
財務活動によるキャッシュ・フロー		738	530
現金及び現金同等物の増減額		292	394
現金及び現金同等物の期首残高		504	109
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額		1	-
現金及び現金同等物の期末残高		798	504